



学校だより

桐里っ子(HP版)

須坂市立井上小学校

平成27年6月15日

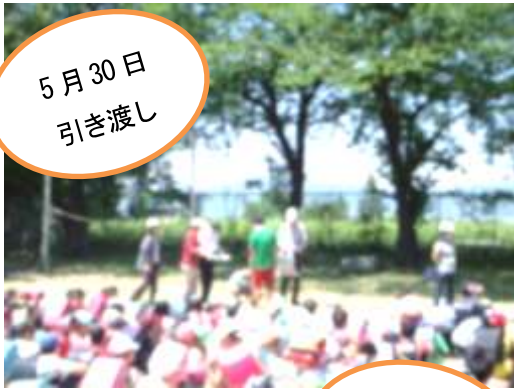
文責：宮坂

井上小 PTA のパワーはすごい！ありがとうございました。

5月30日
PTA 球技大会



5月30日
引き渡し



6月7日
廃品回収



6月7日
PTA 作業



5月30日(土)は年に1回の「土曜参観日」でした。いつもの参観日とは、地域の方や祖父母の皆さん、お父さんの姿が多いのが違うところです。大勢の方に参観いただき、ありがとうございました。同日には合わせて「引き渡し訓練」も行いました。引き渡し場所を校庭に想定し、場合によっては地区別の集団下校もありうることから、学級ごとに避難してから、地区別に並び直しての引き渡しになりました。真夏のような暑さの中、保護者の皆様には校庭に並んでいただき、整然と引き渡し訓練ができましたことに感謝いたします。教職員の連携プレーのあり方や引き渡し完了後の連絡等、細かい課題も明らかになりました。状況に沿って改善を重ね、子どもたちの安全をしっかりと確保します。また、災害はいつ何時起きるかは分かりません。いろいろな場合を想定して、訓練内容を変えていきたいと考えています。是非ご家庭でも、家で大地震がおきたらどこに逃げる、ばらばらになったらどこで落ち合うとか、登下校の途中、買い物の途中などに「今地震が起きたらどうすればいいのかな」と、お子さんといっしょに考えていただければ子どもたちなりの危機管理意識が育っていくと思います。

引き渡し訓練の後は、「PTA 球技大会」でした。暑〜い体育館の中では熱〜い戦いがか和やかに繰り広げられました。円陣を組んでエールするクラスもあり、懇親を深めたと思います。濃い一日でしたが、PTAの皆さんのパワーで乗り切りました。

翌週日曜日 6月7日は、PTA 作業と資源回収のダブルハッターでした。普段なかなか手の届かないところやロータリー周りの拡張など、大人の力でなくてはできないことなど、環境整備をしていただきました。たくさんの窓ふきもしていただき、さっぱりしました。資源回収でも「たくさん！」と声のあがった新聞紙やアルミ缶を中心に、各地区からたくさん集めていただきました。収集所の受け取り部隊もフル回転でした。本当にありがとうございました。ご協力いただいた地区の皆様もありがとうございました！！秋の資源回収は9月6日(日)を予定しています。回収の収入は特別会計に入り、子どもたちのために使用します。次回

も、協力よろしくをお願いします。(アルミ缶・茶色一升瓶・新聞紙・チラシ・雑誌を集めます！)

前回の校長講話では『花さき山』のお話をしました。

皆さんが、友だちや家族を思いやって優しいことをすると、「花さき山」に「あなたの花」がそっと咲くというお話でしたね。なかよし清掃の時に、5年生の男の子が1年生の代わりに雑巾を絞ってやり方を見せてあげていました。反省の時に2年生の女の子が自分よりも1年生の女の子を先にしてあげているのも見ました。なかよし旬間中に、井上小の「花さき山」にはたくさんの花がそっと咲いたなあと、幸せな気持ちになりました。校長先生を幸せな気持ちにしてくれて、皆さん、ありがとう。

今日は、皆さんのしたことは、誰もみていないようでも、必ず見ているよというお話の続きをします。

昔、中国が「漢(後漢)」と呼ばれていた頃、楊震(ようしん)という名前のお役人が太守(地方長官)に任命されて、その場所まで行く途中である町で泊まることになりました。じつは、その町を治めていたのは、この楊震という人が何年前に「この人物は、素晴らしい人物だから市長をまかせることができますよ」と推薦した王密という人だったのです。

王密という人は、何年前に自分のことを「リーダーになるのにふさわしい人だよ」と楊震が推薦してくれたことをありがたく思っていて、夜中遅くなってから楊震を訪ねていきました。

「楊震先生、その折は私のことを推薦して下さいありがとうございます。」

「誰かと思ったら王密さんではないか。元気にやっているね。こんな夜中に何の用かな。」

「先生にいつかお礼をしたいと思っていました。先生、これを受け取って下さい。」

何かと思えば、懐から金十斤を取り出して、楊震に贈ろうとしたのです。(賄賂です)しかし、楊震はそれを受け取らず、かえって悲しい顔つきになってこう言いました。

「君を古くから知っていた私は、君という人がどんな人物なのかを知っていて、素晴らしい人だと思ったから、推挙をした。それなのに、君は私にお金でお礼をするという。私が、わけもなくお金を受け取ったりすることをいやなことだと思う人間だと知っているのに、なぜそんなものをもってきたのか。」と。

それなのに、王密は態度を変えず、「暗い夜のことで、誰も知る者はありません。誰にもずるいとか、いじきたないとか言われませんよ。」と、軽い調子で金を進めてきました。

そこで楊震は、

「天知る、地知る、我知る、子知る。何をか知る者無しと謂わんや。」

と返事をしたのです。意味は、「天が知っているし、地が知っている。私が知っているし、あなたも知っている。それなのに、どうして誰も知る者がいないなどと言えるのか。」ということです。誰も知る者がおらず、二人だけの秘密にしようと思っても、天地の神々も知り、自分も相手も知っているのだから、隠そうとしても必ず分かる。誰も気づかないように思っても、知っている。その上、自分の心の中にまいてしまった黒い種は、黙って放っておくと、いつの間にか大きく黒く育って、心が真っ黒になってしまうのです。

「天知る、地知る、我知る、子知る。」それを聞いた王密は、そこでようやくハッとして顔色を変え、恥ずかしそうな顔になり、肩を丸めて部屋を出て行きました。

「四知(しち)」。皆さんのしていること、言っていることは、悪いことも、良いことも、誰も知らない、見ていないと思っても、天・地・わたし・あなた の四つが知っているということを教えてくれる言葉です。

自転車乗りの楽しい季節です。ヘルメット着用・安全走行・帰宅時刻厳守などについて声かけを！！